

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年8月17日（木）現在

【 果 樹 】

「もも」

各売り先の在庫は少ないものの量販店からの引き合いは落ち着いておりダラダラとした販売となっている。需要期明けもあり粒単価の高い大玉は苦戦気味。相場は概ね保合。

単価：（あかつき）特秀 15玉 3,500円-3,300円 18玉 3,300-3,000円

（まどか）特秀 15玉 3,500円-3,300円 18玉 3,300-3,000円

（川中島）特秀 15玉 3,500円-3,300円 18玉 3,300-3,000円

「ナシ」

栃木県産幸水は増量しているものの全体量は多くない状況だが売り場が広がっておらず緩慢な荷動きとなっている。

単価（特秀）32玉 4,500-4,000 36玉 3,500 40玉 3,000

【 野 菜 】

「きゅうり」

東北産地露地物のピークが過ぎ減少傾向となり入荷割合の少ない上位等級品に不足感のある販売が続き相場はジリ上げとなる見込み。下位等級品については荷動き鈍く保合で推移の見込み。

単価：5kg A品 1900-1600円

「ミニトマト」

夏場の高温で花飛びした段の収穫となることから全体量は減少する見込み。青森・北海道産の入荷量しだいだが相場は強まる見通し。

単価：200g パック AM 140-120円

「いんげん」

福島県産の入荷量は2番成りの出荷が本格化するまでは低調に推移する見込みのため絶対量不足の環境が続く堅調相場で推移する見通し。

単価：2kg 箱 A 3,800-3,500円